

社 会 福 祉 法 人

富 良 野 あ さ ひ 郷

概要・経営理念・職員倫理綱領・施設の状況・沿革

法人の概要

| | |
|---------|--------------------------|
| 法人名 | 社会福祉法人 富良野あさひ郷 |
| 所在地 | 北海道富良野市栄町11番11号 |
| 法人認可年月日 | 1974年 6月 22日 |
| 設立登記年月日 | 1974年 7月 25日 |
| 代表者 | 理事長 佐藤 正勝 |
| 役員 | 理事 6名 評議員 7名 監事 2名 |

(2024年4月現在)

経営理念

わが社会福祉法人は、自らの努力のみでは自立した生活を維持できない個人が、人としての尊厳を持って、家庭や地域および施設の中で、その人らしい生活が送れるよう、地域社会・利用者及びその家族に福祉的な貢献をする事を使命とし、サービスの質の向上に努めつつ成長する職員とともに、激しい社会環境変化のなかで、「福祉」と「経営」の均衡のもと、永続・発展をはかる。

そのために

- 一、 地域に信頼される富良野あさひ郷
- 一、 利用者に安心と満足をいただける富良野あさひ郷
- 一、 職員が誇りを持てる富良野あさひ郷

でありたい。

社会福祉法人 富良野あさひ郷 職員倫理綱領

私たち職員は、わが法人の経営理念のもと、社会福祉事業を担う一員として、その社会的責任や役割を自覚し、利用者一人ひとりをかけがいのない存在とし、個性や主体性を尊重し、いかなる差別、虐待、人権侵害も許さず、社会を構成する一員として安全・安心な市民生活を送れるよう支援します。

- 一、人としての尊厳を保ち、その人らしい自立した生活を送れるよう支援します
- 一、利用者本位の良質なサービス提供に努めます
- 一、自己評価、第三者評価によりサービスの質の向上をはかります
- 一、サービス内容の公開に努めます
- 一、苦情は、私たちに与えられた成長の糧として、適切な解決に努めます
- 一、自らの成長のため、自己研鑽に努めます
- 一、地域の一員として、地域福祉に参画します
- 一、福祉の担い手として、誇りを持って生活します

以上、宣言します

I 施設の状況

(2024年4月1日付)

| | 種 別 | 施 設 名 | 定員 | 職員数 |
|------------------|--|--|------------|------------|
| 第1種社会福祉事業 | | | | |
| 1 | 障害者支援施設 | 北の峯学園 | 100 | 83 |
| 2 | 特別養護老人ホーム | 北の峯ハイツ | 120 | 106 |
| 3 | 養護老人ホーム | 富良野市寿光園 | 100 | 45 |
| 第2種社会福祉事業 | | | | |
| 4 | 老人短期入所事業 | 北の峯ハイツ | 空床型 | - |
| 5 | 障害福祉サービス事業 指定共同生活援助事業 | ライフサポート彩 | 57 | 33 |
| | | グループホーム かみふらの | 8 | - |
| 6 | 障害福祉サービス事業 短期入所事業 | 北の峯学園 | 2 | - |
| 7 | 障害福祉サービス事業多機能型事業 | 北の峯学園 | 20 | - |
| | | デイセンター芽ぐみ野 | 40 | 14 |
| | | サポートステーションすきっぷ | 60 | 25 |
| | | デイサポートかみふらの | 20 | 18 |
| 8 | 老人デイサービス事業 | デイサービスセンターあさひ郷 | 29 | 17 |
| | | 富良野市デイサービスセンターやまべ | 37 | 12 |
| | | デイサービスセンターかみん | 37 | 19 |
| 9 | 基準該当障害福祉サービス 生活介護事業（富良野市） | 富良野市デイサービスセンターやまべ | - | - |
| 10 | 訪問介護事業 | ヘルパーステーション寿光園 | - | - |
| 11 | 指定特定相談支援事業 | 指定特定相談支援事業 歩み | - | 1 |
| 12 | 指定一般相談支援事業 | 指定一般相談支援事業 歩み | - | - |
| 公益事業 | | | | |
| 13 | 外部サービス利用型特定施設 入居者生活介護事業 | 富良野市寿光園 | - | - |
| 14 | 指定居宅介護支援事業 | 居宅介護支援事業所 歩み | - | 3 |
| 15 | 市町村地域生活支援事業（委託） 日中一時支援事業 | 北の峯学園 サポートステーションすきっぷ デイセンター芽ぐみ野 デイサポートかみふらの | - | - |
| 16 | 上富良野町介護予防・日常生活支援総合事業 （第一号通所事業 通所型サービスA） | デイサービスセンターかみん | 20 | - |
| 17 | 介護予防・日常生活支援総合事業 | デイサービスセンターあさひ郷 | - | - |
| | | 富良野市デイサービスセンターやまべ | | |
| | | デイサービスセンターかみん | | |
| 18 | 認可外保育施設 | おひさま保育園 | 19 | 2 |
| 18 事業 | | 14 事業所 | 669 | 378 |

法人の沿革

1974年 7月 厚生大臣より社会福祉法人「北の峯学園」の認可を得て法人の設立登記を完了する。

理事長に 森田 藤八 就任。

12月 日本自転車振興会の補助により第一期工事完了し、北海道知事より知的障害者更生施設「北の峯学園」の認可を得て、定員32名を以って事業を開始する。

園長に 荒川 廣秋 就任。

75年 4月 北の峯学園 定員 32名から40名の変更認可を受ける。

6月 お年玉郵便葉書の補助で、北の峯学園 作業棟を新築する。

10月 第二期工事を完了し、北の峯学園 定員 40名から60名の変更認可を受ける。

12月 北の峯学園 定員 60名から70名の変更認可を受ける。

77年12月 北の峯学園 定員 70名から80名の変更認可を受ける。

79年 1月 北海道知事より特別養護老人ホーム「北の峯ハイツ」(定員50名)および併設の老人短期入所事業(定員2名)の認可を得て事業を開始する。初代園長に 南雲 景正 就任。

4月 北の峯ハイツ 定員 50名から60名の変更認可を受ける。

9月 厚生大臣より法人名称「北の峯学園」から「富良野あさひ郷」への変更認可を受ける。

80年 4月 北の峯ハイツ 園長に 荒川 廣秋 就任。

7月 富良野市の補助により第三期工事を完了し、北の峯学園 定員 80名から100名の変更認可を受ける。

81年 3月 北の峯ハイツ 園長に 高田 忠男 就任。

82年 2月 北の峯ハイツ 定員 60名から90名の変更認可を受ける。

4月 北の峯学園 定員 100名から110名の変更認可を受ける。

83年 4月 北の峯学園 定員 110名から125名の変更認可を受ける。

84年10月 北の峯ハイツ 定員 90名から100名の変更認可を受ける。

85年 7月 富良野あさひ郷 創立十周年記念式典を挙げる。

86年 4月 北の峯学園 定員 125名から130名の変更認可を受ける。

北の峯学園通所部 定員 10名の認可を受ける。

10月 日本自転車振興会の補助事業により、地域交流ホーム「北の峯山荘」を新築する。

87年 5月 北の峯学園 定員130名から140名の変更認可を受ける。

88年 4月 北の峯ハイツ 園長に 宮川 泰幸 就任。

6月 北の峯学園通所部 定員 10名から12名の変更認可を受ける。

89年 1月 北の峯ハイツ 創立十周年を迎える。

4月 北海道知事より知的障害者更生施設「おんべつ学園」の認可を受け定員50名を以って事業を開始する。

清水基金の補助により、北の峯学園 生活訓練棟を改修する。

10月 おんべつ学園 定員 50名から60名の変更認可を受ける。

90年 4月 北海道知事より知的障害者授産施設「第二おんべつ学園」の認可を受け、定員50名を以って事業を開始する。

9月 北の峯学園 総合作業棟「燦陽」を新築する。

91年 1月 中央競馬馬主会の補助を受け、北の峯学園 園芸作業棟を新築する。

4月 おんべつ学園 定員 60名から65名の変更認可を受ける。

92年 2月 中央競馬馬主会の補助を受け、北の峯学園 織染作業棟を新築する。

4月 北の峯学園通所部 定員 12名から19名の変更認可を受ける。

8月 車輛競技記念財団の補助を受け、北の峯学園 屋上防水補修を行う。

93年 3月 富良野あさひ郷 理事長に 岡野 忠幸 就任。

4月 おんべつ学園 定員 65名から90名の変更認可を受ける。

94年 1月 北の峯学園 園長に 西出 覚 就任。

3月 北の峯学園通所部の廃止認可を受ける。

4月 北海道知事より知的障害者更生施設（通所）「北の峯学園デイ・センター」の認可を受け定員30名を以って事業を開始する。管理者に 石津 勇 就任。同時に、知的障害者地域援助事業所「グループホームわかば」の認可を受け事業を開始する。

95年 3月 富良野あさひ郷 理事長に 仲世古 善雄 就任。

4月 お年玉郵便葉書の寄付により、北の峯学園 業務用洗濯脱水機・乾燥機を購入する。

8月 車輛競技記念財団の補助を受け、北の峯学園 中庭廊下改修 及び 給水ポンプ取替えを行う。

| | |
|----------|--|
| 12月 | 富良野市の補助により、北の峯学園 中高齢者棟を新築する。 |
| 97年 3月 | 北海道知事より4月1日を以って、知的障害者更生施設「おんべつ学園」および知的障害者授産施設「第二おんべつ学園」の法人分離・独立の認可を受ける。 |
| 10月 | 北海道知事より認可を受け知的障害者地域援助事業所「グループホームふらの」の認可を受け事業を開始する。 |
| 98年 1月 | 北の峯ハイツ 創立二十周年を迎える。 |
| 2000年 4月 | 北海道知事より認可を受け知的障害者更生施設「北の峯学園」において知的障害者短期入所事業（定員2名）を開始する。同時に、居宅介護支援事業「指定居宅介護支援事業所北の峯ハイツ」の事業を開始する。管理者に 中川 学 就任。 |
| 01年11月 | 北海道知事より認可を受け痴呆対応型共同生活援助事業「グループホーム北の峯」の事業を開始する。管理者に 宮川 泰幸 就任。 |
| 02年 4月 | 北の峯ハイツ 園長に 藤川 英昭 就任。 グループホーム北の峯 管理者に 藤川 英昭 就任。 北の峯学園 園長に 佐藤 昌弘 就任。 |
| 10月 | 北海道知事より認可を受け知的障害者地域援助事業所「グループホームあじさい」の事業を開始する。 |
| 03年 3月 | 北海道知事より認可を受け老人デイサービス事業「デイサービスセンターあさひ郷」の事業を開始する。 定員25名 管理者に 小笠原 美幸 就任。 |
| 4月 | 指定居宅介護支援事業所北の峯ハイツの所在地を富良野市本町8番10号へ移転し、変更認可を受ける。 |
| 9月 | 北海道知事より認可を受け老人デイサービス事業「富良野市デイサービスセンターやまべ」の事業を開始する。 定員20名 管理者に 阿部 修二 就任。 富良野市より在宅介護支援センターの委託を受け、北海道知事より認可を受け「富良野市在宅介護支援センターやまべ」の事業を開始する。管理者に 阿部 修二 就任。 |
| 11月 | 指定居宅介護支援事業所北の峯ハイツ 管理者に 今井 直美 就任。 |
| 04年 2月 | 北海道知事より認可を受け知的障害者地域援助事業所「グループホームのぎく」の事業を開始する。 |
| 4月 | 北の峯学園デイ・センター創立十周年を迎える。 グループホームあじさいの所在地を富良野市錦町13番27号へ移転し、変更許可を受 |

ける。

指定居宅介護支援事業所北の峯ハイツの所在地を富良野市山部2632番1へ移転し、
変更認可を受ける。

11月 北海道知事より認可を受け老人デイサービス事業「デイサービスセンターかみん」の事
業を開始する。 定員25名 管理者に 三島 功士 就任。

12月 北の峯学園創立三十周年を迎える。

05年 4月 「北の峯学園栄町分場（通所）」定員19名にて事業開始する。

グループホームわかばの所在地を富良野市栄町11番11号へ移転する。

デイサービスセンターかみん 定員 25名から30名の変更認可を受ける。

06年 3月 富良野市在宅介護支援センターやまべ事業の廃止認可を受ける。

4月 組織機構改革を行う。総合施設長 宮川 泰幸

老人福祉事業入所系総括 藤川 英昭 老人福祉事業在宅系総括 宮川 泰幸

知的障害者福祉事業総括 佐藤 昌弘 障害者地域福祉推進室長 佐藤 昌弘

北の峯学園 施設長に 山口 敏之 就任。

北の峯学園デイセンター 管理者に 佐藤 昌弘 就任。

北の峯学園デイセンター 定員 30名から32名の変更認可を受ける。

指定居宅介護支援事業所北の峯ハイツ 管理者に 阿部 修二 就任。

デイサービスセンターかみん 管理者に 伊藤 美香 就任。

10月 障害者自立支援法に基づきグループホーム事業からケアホーム事業へ転換し、共同生活
介護事業所「ケアホームわかば」（住居5箇所 定員23名）を開始。

管理者に 佐藤 昌弘 就任。

北の峯学園デイセンター 定員 32名から40名の変更認可を受ける。

07年 4月 北の峯学園栄町分場を障害者自立支援法に基づく 障害福祉サービス多機能型事業所
サポート・ステーション栄町 定員30名として事業を開始する。

（生活介護8名 自立訓練(生活訓練)6名 就労移行支援6名 就労継続支援B型10
名) 管理者に 福永 吉克 就任。

富良野市および上富良野町と、日中一時支援事業の開始に伴い業務委託契約を行う。

実施場所 「北の峯学園」 「サポート・ステーション栄町」

5月 平成19年度 社会福祉施設整備補助金(454,440,000円)の補助内示を貰う。

6月 デイサービスセンターあさひ郷 管理者に 黒田 隆男 就任。

8月 北の峯学園改築工事を着工する。

9月 デイサービスセンターかみん 定員 30名から35名の変更認可を受ける。

8月 日本財団より290万円の補助を受け、ケアホームたんぽぽの改修を行う。

10月 共同生活介護事業所ケアホームわかば事業所 定員47名 住居11箇所に変更。

11月 平成19年度障害者就労訓練設備等整備事業により 北の峯学園デイ・センターにて
ビニールハウス設置する。 補助額 3,152,000円

08年 1月 北の峯ハイツ 創立三十周年を迎える。

2月 平成19年度障害者自立支援対策推進補助事業(障害者自立支援基盤整備事業)により
北の峯学園デイ・センターの増改修工事の完了。 補助額 19,068,000円

3月 北の峯学園 改築工事完了。

4月 北の峯ハイツ 施設長に 小笠原 美幸 就任。

グループホーム北の峯 管理者に 小笠原 美幸 就任。

富良野市より養護老人ホーム 富良野市寿光園の指定管理者として受託し事業を開始
する。定員100名。同時に、北海道知事より認可を受け外部サービス利用型特定施設
入居者生活介護 富良野市寿光園 及び 訪問介護事業 ヘルパーステーション寿光
園の事業を開始する。園長(兼務 管理者)に 宮川 泰幸 就任。

北の峯学園デイ・センターを障害者自立支援法に基づく新体系事業に移行する。

障害福祉サービス多機能型事業所 定員40名(生活介護30名 就労継続支援B型
10名)として事業開始。

5月 北の峯学園を定員140名から100名の変更認可を受け、障害者自立支援法に基づく
新体系事業へ移行する。障害者支援施設100名 障害福祉サービス多機能型事業所1
30名(生活介護120名 就労継続支援B型10名)として事業開始。

共同生活介護事業所ケアホームわかば事業所 定員58名 住居14箇所に変更。

6月 北の峯学園解体・撤去工事を終える。

7月 北の峯学園外構工事を終える。(北の峯学園改築事業 完了となる)

09年 4月 サポート・ステーション栄町 定員30名のままで事業定員の変更を行う。

自立訓練(生活訓練)6名の事業を廃止する。

(生活介護10名 就労移行支援6名 就労継続支援B型14名)

サポート・ステーション栄町 相談支援事業者の指定を受ける。

「北の峯学園デイ・センター」から「デイセンター芽ぐみ野」へ名称変更行う。

「ケアホームわかば」から「ライフサポート彩」へ名称変更行う。

富良野市デイサービスセンターやまべ 定員 25名から20名の変更認可を受ける。

9月 デイサービスセンターあさひ郷 管理者に 及川 博美 就任。

2010年 2月 新谷氏より土地(朝日町)の売買契約締結。

新谷氏・ふらのいちごの会より土地・建物の寄付を受ける。

STV24時間テレビよりデイサービスセンターあさひ郷へ、福祉車輛の贈呈を受ける。

4月 北の峯ハイツ 施設長に 高野 知一 就任。

グループホーム北の峯 施設長に 高野 知一 就任。

ライフサポート彩 管理者に 佐藤 正勝 就任。

デイサービスセンターかみん 管理者に 檜野 真由美 就任。

デイサービスセンターかみん 定員 35名から37名の変更認可を受ける。

サポート・ステーション栄町 「出張所工房すきっぷ」を開所。これに伴い定員を40名とする。(生活介護10名 就労移行支援6名 就労継続支援B型24名)

指定居宅介護支援事業所北の峯ハイツ 創立十周年を迎える。

6月 共同生活介護事業所 ライフサポート彩 定員 59名とする。

8月 ケアホームわかば 新築工事完了。

9月 共同生活介護事業所 ライフサポート彩 定員 60名とする。

10月 法人本部事務所を富良野市栄町11番11号(サポート・ステーション栄町2階)へ移転し、変更認可を受ける。

組織機構改革を行う。常務理事に 佐藤 昌弘 就任。

11年 2月 富良野市の住所表記変更により、養護老人ホーム 富良野市寿光園、外部サービス利用型特定施設入居者生活介護 富良野市寿光園、訪問介護事業 ヘルパーステーション 寿光園、富良野市デイサービスセンターやまべ、指定居宅介護支援事業所北の峯ハイツの住所表記が「富良野市山部2632番1」から「富良野市山部北町12番18号」へ変更し、認可を受ける。

4月 北の峯ハイツ移転・改築に伴う土地を取得する。

富良野市デイサービスセンターやまべ 定員 20名から25名の変更認可を受ける。

8月 北の峯ハイツ移転・改築に伴う協議書の提出を行う。

12年 4月 指定居宅介護支援事業所北の峯ハイツの所在地が富良野市デイサービスセンター
やまべ内から富良野市寿光園内に変更する。

デイサービスセンターあさひ郷 定員 30名から32名の変更認可を受ける。

富良野市デイサービスセンターやまべ 基準該当障害福祉サービス生活介護事業
登録申請を行う。

デイサービスセンターかみん 上富良野町地域支援事業（生きがい活動支援通所
サービス事業）委託契約を行う。

富良野市寿光園の施設長に 黒田 隆男 就任。

デイサービスセンターあさひ郷管理者に 阿部 修二 就任。

富良野市デイサービスセンターやまべ管理者に 伊藤 美香 就任。

平成24年度 社会福祉施設整備事業費(438,480,000円)補助内示を戴く。

6月 北の峯ハイツ改築工事を着工する。

独立行政法人 福祉医療機構より貸付内定通知を戴く。

8月 北の峯ハイツ改築を行う土地に排水路敷地が含まれていたため 40㎡を富良野市
へ寄付する。

10月 北の峯ハイツ 施設長に 福永 吉克 就任。

グループホーム北の峯 施設長に 福永 吉克 就任。

サポート・ステーション栄町管理者に 山口 敏之 就任。（北の峯学園長兼務）

11月 富良野市デイサービスセンターやまべ 定員25名から27名の変更を行う。

12月 北の峯学園上富良野事業所建設事業計画案について協議を行う。

13年 2月 グループホーム北の峯 移転・改築に伴う土地の取得を行う。

3月 北の峯ハイツ改築工事完了。

平成25年度年賀寄附金配分申請の決定通知を戴く。（上富良野事業所 厨房機器）

グループホーム北の峯 移転に伴う事業計画について説明を行う。

4月 サポート・ステーション栄町管理者に 酒井 亮 就任。

北の峯学園上富良野事業所 建設予定地の賃貸借契約を締結する。

北の峯ハイツ 定員100名から120名への変更 及び ユニット型介護福祉施設
区分への変更 並びに短期入所定員を2名から空所のみに変更について受理される。

5月 富良野市デイサービスセンターやまべ 定員27名から30名の変更を行う。

平成25年度介護基盤事業緊急整備等特別対策事業交付金の内示を富良野市を
通じ北海道より戴く。

9月 北の峯学園 上富良野事業所工事完了。

グループホーム ほがらか 新築工事を着工する。

10月 北の峯学園 上富良野事業所 開所。

北の峯学園多機能型事業 就労支援B型10名から20名へ定員の変更を行う。

デイサービスセンターあさひ郷管理者に 石津 剛 就任。

11月 指定特定相談支援事業所 歩み 相談支援事業者の指定を受け、事業開始。

管理者に 黒田 隆男 就任。

指定居宅介護支援事業所 北の峯ハイツより 歩みへ名称変更する。

上富良野つばさ会より 700万円のご寄附を戴く。

12月 北の峯ハイツ建物 富良野市へ無償譲渡し、基本財産処分について 上川総合

振興局より承認を受ける。

14年 1月 社会福祉法人 清水基金より平成25年度一般助成事業の決定通知を戴く。

(送迎車輛・240万円)

2月 公益財団法人 大友福祉振興財団より平成25年度助成金の交付決定を頂く。

3月 グループホーム ほがらか工事完了。

グループホーム 北の峯(老人福祉事業)が グループホーム ぽぷら(障害
者福祉事業)へ 転用が認可される。

4月 グループホーム ほがらか 2ユニット 定員18名で事業開始。

施設長に 福永 吉克 就任。

指定一般相談支援事業所 歩み 相談支援事業者の指定を受け、事業開始。

所長に 黒田 隆男 就任。

ライフサポート彩、ケアホームとグループホーム一元化により介護サービス

包括型グループホームに変更となる。

デイセンター芽ぐみ野 創立二十周年を迎える。

12月 北の峯学園 創立四十周年を迎える。

15年 3月 富良野市中御料(旧 北の峯ハイツほか)土地を富良野市の要請により売却する。基本財産処分となり、上川総合振興局より承認を受ける。

4月 北の峯学園家族の会よりレストラン・グループホーム・住居等の寄附を戴く。

レストラン・グループホームについて 基本財産へ組入れることとする。

指定特定相談支援事業所 歩み・指定一般相談支援事業所 歩み の所在地を富良野市寿光園から北の峯学園に変更する。

北の峯学園 施設長に 酒井 亮 就任。

サポート・ステーション栄町・ライフサポート 彩 管理者に 三浦 圭一 就任。

(兼務)

富良野市寿光園 施設長に 山口 敏之 就任。

デイサービスセンターあさひ郷 管理者に 黒田 隆男 就任。

デイサービスセンターかみん 管理者に 高橋 保光 就任。

指定特定相談支援事業所 歩み・指定一般相談支援事業所 歩み

所長に 酒井 亮 就任。

指定居宅介護支援事業所 歩み 所長に 山口 敏之 就任。

10月 デイサービスセンターあさひ郷 管理者に 幾世橋 尚 就任。

16年 1月 デイサービスセンターかみん 所長に 佐藤 正勝、管理者に 川上真紀恵 就任。

3月 富良野市よりデイサービスセンターあさひ郷・富良野市デイサービスセンターやまべ介護予防・日常生活支援総合事業へ一部移行を開始する。

4月 北の峯学園上富良野事業所を障害者自立支援法に基づく 障害福祉サービス多機能型事業所 デイサポートかみふらの 定員20名として指定を受け、事業を行う。

(生活介護10名 就労継続支援B型10名) 管理者に 酒井 亮 就任。

北の峯学園多機能型事業 生活介護120名から110名、就労支援B型20名から10名へ定員の変更を行う。

富良野市デイサービスセンターやまべ 定員30名から33名の変更を行う。

ライフサポート彩 定員60名から61名の変更を行う。

6月 株式会社亀屋斉藤商店会長 齊藤澄子氏より 車椅子15台のご寄贈を戴く。

8月 富良野市デイサービスセンターやまべ 定員33名から35名の変更を行う。

12月 ライフサポート彩 定員61名から60名の変更を行う。

17年 1月 北の峯ハイツ 防犯対策強化事業（防犯カメラ）補助金について内示を受ける。

2月 北の峯学園 防犯対策強化事業（防犯カメラ）補助金について内示を受ける。

企業主導型保育事業（整備費）補助金について内示を受ける。

富良野市デイサービスセンターやまべ 定員35名から37名の変更を行う。

4月 障害者福祉事業総括に 酒井 亮 就任。

高齢者福祉事業総括に 福永 吉克 就任。

障害者福祉事業通所責任者に 佐藤 昌弘 就任。

高齢者福祉事業通所責任者に 佐藤 正勝 就任。

富良野市寿光園 施設長に 吉田 稔 就任。

デイセンター芽ぐみ野 所長に 武田 亮 就任。

サポート・ステーション栄町 所長に 川瀬 友彦 就任。

ライフサポート 彩 所長に 辻尾 優子 就任。

デイサポートかみふらの 所長に 水野 雄二 就任。

グループホーム ほがらか 所長に 横山 智子 就任。

デイサービスセンターあさひ郷 所長に 福永 正枝 就任。

富良野市デイサービスセンターやまべ 所長 滝口 郁美 就任。

デイサービスセンターかみん 所長に 広瀬 祐二 就任。

指定居宅介護支援事業所 歩み 所長に 佐藤 昌弘 就任。

サポート・ステーション栄町 定員40名から50名の変更を行う。

7月 ライフサポート彩 住居わかばスプリンクラー整備 補助金について内示を受ける。

12月 おひさま保育園（企業主導型保育施設）開園する。定員19名。

18年 4月 障害者福祉事業通所責任者及び高齢者福祉事業通所責任者を解く。

指定居宅介護支援事業所 歩み 所長に近田 純美 就任。

6月 35年間の長きにわたり 多大なるご支援を戴いた 社会福祉法人富良野あさひ郷
後援会「あさひ会」の活動を終えている。

19年 3月 北の峯学園 平成30年度社会福祉施設整備事業費(非常用発電機設備)について
内示を受ける。

北の峯ハイツ 平成30年度北海道老人福祉施設等施設整備事業(非常用自家発電
設備等)について内示を受ける。

19年 4月 統括責任者に 佐藤 正勝 就任。

事務局長に 広瀬 健一 就任。

ライフサポート 彩 所長に 佐藤 輝和 就任。

デイサービスセンターあさひ郷 所長に 滝口 郁美 就任。

富良野市デイサービスセンターやまべ 所長に 川上 真紀恵 就任。

グループホーム ほがらか 所長に 福永 吉克 就任。

指定居宅介護支援事業所 歩み 所長に 福永 吉克 就任。

19年 6月 理事長に 佐藤 正勝 就任。

20年 4月 サポート・ステーション栄町をサポートステーションすきっぷに名称変更し新築移転。

(定員 就労移行支援6名 生活介護10名 就労継続支援B型44名)

特定相談支援事業所歩み 一般相談支援事業所歩み 所長に 川瀬 友彦 就任。

21年 4月 北の峯学園 施設長に 佐藤 正勝 就任。

デイセンター芽ぐみ野 所長に 酒井 亮 就任。

ライフサポート 彩 所長に 武田 亮 就任。

21年 6月 業務執行理事に 福永 吉克 就任。

21年 9月 北の峯ハイツ 令和3年度地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金(水害対策強
化事業)について内示を受ける。

22年 4月 グループホーム かみふらの 定員8名として指定を受け、事業を行う。

デイサービスセンターあさひ郷 所長に 伊藤 美香 就任。

デイサービスセンターかみん 所長に 宮嶋 優 就任。

| | | |
|-----|----|-----------------------------------|
| 23年 | 4月 | 富良野市デイサービスセンターやまべ 所長に 吉田 稔 就任。 |
| 24年 | 3月 | グループホーム ほがらか 事業を廃止する。 |
| | 4月 | 北の峯学園 施設長に 三浦 圭一 就任。 |
| | 7月 | 法人創立五十周年を迎える。記念式典・祝賀会を挙げる。 |
| | 9月 | デイサービスセンターあさひ郷 事業を廃止する。 |
| 10月 | | デイセンター芽ぐみ野 所長に 佐藤 正勝 就任。 |
| | | ふらっくす 定員27名で事業開始。 |
| | | (地域密着型通所介護18名・(介護予防)認知症対応型通所介護9名) |
| | | |
| | | |